

9月定例山行 吾妻山(秋の麗人マツムシソウを見に行こう) 庄原市比和町

9月5日(水) 天候:曇り時々晴れ

参加者 23名 C.L.松尾幸男 S.L.若木一之

若木(小)、三重(成)、三重(典)、熊谷(修)、円山、藤本、田所、西本、杉山、原田
安永、小川、滝、川野、大坂、川村、小林、曾田、富田、会友(早川、八木)



報告:平日にマイクロバスでの山行、人数が集まるかどうか出発前日までやきもきしましたが、23名の参加者を迎えほっとしました。天気の状態が、県北で一時雨との情報もあり心配しましたが、雨に降られず天気は曇りで涼しい風が吹き心地よい山行になりました。休暇村上の草原に出て、西本さんの指導で準備体操をしてから、マツムシソウなど秋の花を探しに付近を散策。たくさんの花が咲いていました。

マツムシソウ、サラシナショウマ、タムラソウ、ツリガネニンジン、キセルアザミ等

みんなぶらぶらと次第に山道を歩き始め、ゆっくりと登り始めました。山には入るとフウロウソウが目立ちました。突然大きな悲鳴、何かと振り返れば、大きなアオダイショウが石の上で昼寝をしていた。早々に退散してもらった。頂上で昼食の予定だったが、遠くない雷が聞こえたので、何もない頂上では危険なので、すぐに東側の道を下山した。樹林の中で森林浴を楽しみながら、足下の花を見て南の原へ歩きキャンプ場を横切り再び草原に帰り着いた。さいわい雨は降らず、草原での食事時間をゆっくり取った。

今回は、登山より草原の花を見て楽しむことを目的にしました。歩き足りないという声も聞こえたが、こんなゆっくり散策を楽しむ山もあっていいのではと思いました。

樹林帯では、オオカメノキは真っ赤な実をつけていた。アキギリの花、オレンジ色の鮮やかなフシグロセンノウ、ジイソブという言い方もあるツルニンジン、ツルリンドウ、濃いピンクのツリフネソウなど、楽しく歩きました。



ヒゴタイ



マツムシソウ



フシグロセンノウ